

平成18年度枝肉成績とりまとめ概要

(肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業 全国肉用牛枝肉情報収集・分析・提供対策事業)

平成18年4月1日から平成19年3月31日の期間にと畜され、平成19年6月7日まで
に本事業で収集された黒毛和種枝肉情報は107,504件で、平成17年度の85,839頭より21,665
頭増加した。(社)日本食肉格付協会により平成18年度に格付された和牛(黒毛和種、褐毛
和種、無角和種等)402,480頭(去勢:231,839.0頭 雌:170,641.0頭)の26.7%を占めて
いた(同協会インターネット <http://www.jmga.or.jp/> 平成19年5月10日更新より)

表1では、去勢、雌牛別の各形質の平均を年度別に示し、図1で、形質ごとに年度別の平
均値をグラフに示した。去勢は全体頭数の62.9%(対前年-3.7%)を占めている。日齢枝肉重量
及び枝肉重量については去勢、雌ともに、ロース芯面積については去勢において、ゆるやか
ながら年を追うごとに増加傾向している。ばらの厚さでは、去勢、雌ともにほぼ横ばい、皮
下脂肪厚は去勢では緩やかに減少傾向である。歩留基準値は去勢において前年より減少し、
雌では平成15年度から減少傾向である。またBMS(No)では、去勢、雌ともに前年より減少
した。

表1 枝肉形質平均±SD

形質名	性別	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度			
		頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	±	SD
日齢枝肉重量 (kg/day)	去勢	63,407	0.487	65,747	0.490	50,786	0.492	56,514	0.499	66,744	0.506	±	0.069
	雌	34,649	0.418	33,256	0.423	24,611	0.414	29,325	0.417	40,760	0.429	±	0.090
枝肉重量 (kg)	去勢	63,407	437.5	65,747	436.2	50,786	437.8	56,514	443.4	66,744	451.5	±	58.2
	雌	34,649	383.7	33,256	382.6	24,611	382.8	29,325	386.9	40,760	394.3	±	51.8
ロース芯面積 (cm ²)	去勢	63,386	52.6	65,716	52.9	50,742	53.0	56,466	53.2	66,671	53.3	±	7.9
	雌	34,624	51.2	33,238	51.5	24,529	50.8	29,225	50.7	40,650	51.1	±	8.4
ばらの厚さ (cm)	去勢	63,386	7.45	65,716	7.42	50,742	7.46	56,466	7.53	66,671	7.51	±	1.01
	雌	34,624	7.16	33,238	7.09	24,529	7.08	29,225	7.11	40,650	7.11	±	0.99
皮下脂肪厚 (cm)	去勢	63,386	2.38	65,716	2.39	50,740	2.30	56,466	2.31	66,671	2.34	±	0.72
	雌	34,624	2.76	33,237	2.67	24,529	2.61	29,225	2.60	40,650	2.63	±	0.81
歩留基準値	去勢	63,386	73.61	65,716	73.64	50,742	73.73	56,466	73.72	66,671	73.60	±	1.33
	雌	34,624	73.57	33,238	73.64	24,529	73.60	29,225	73.56	40,650	73.49	±	1.47
BMS (No)	去勢	63,386	5.27	65,716	5.19	50,742	5.37	56,466	5.47	66,671	5.39	±	2.03
	雌	34,624	5.17	33,238	4.97	24,529	5.08	29,225	5.02	40,650	4.96	±	2.01
BCS (No)	去勢	63,386	3.85	65,716	3.79	50,742	3.80	56,466	3.77	66,671	3.79	±	0.56
	雌	34,624	4.05	33,238	4.00	24,529	4.00	29,225	3.99	40,650	4.01	±	0.62
しまり	去勢	63,386	3.69	65,716	3.68	50,742	3.71	56,466	3.73	66,671	3.69	±	0.92
	雌	34,624	3.60	33,238	3.54	24,529	3.53	29,225	3.48	40,650	3.49	±	0.96
きめ	去勢	63,386	3.87	65,716	3.86	50,742	3.91	56,466	3.94	66,671	3.92	±	0.81
	雌	34,624	3.78	33,238	3.72	24,529	3.74	29,225	3.71	40,650	3.71	±	0.87

図1 各形質の年度別平均

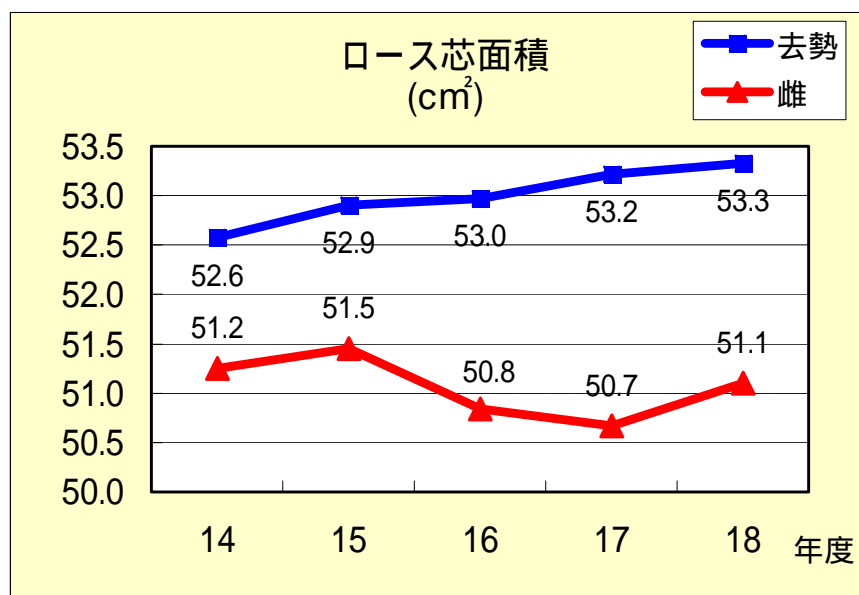
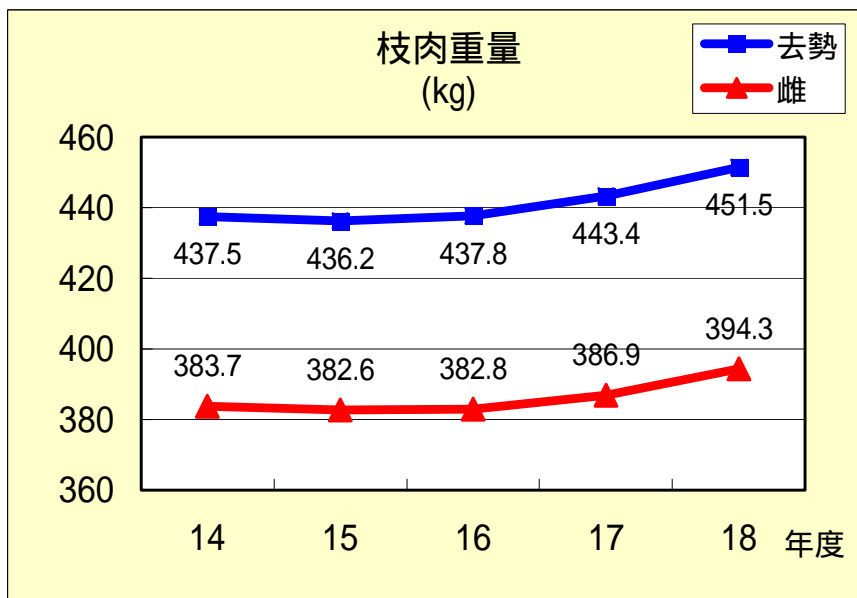
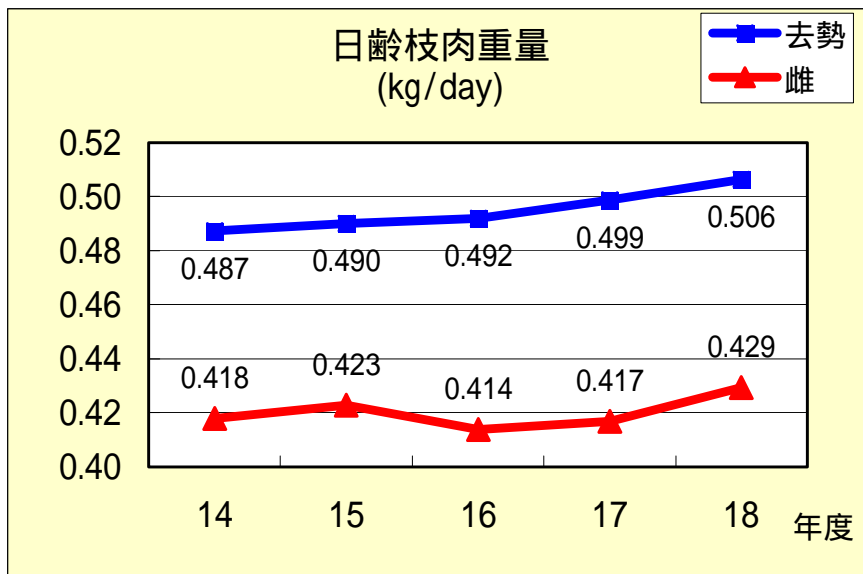


図1 各形質の年度別平均(つづき)

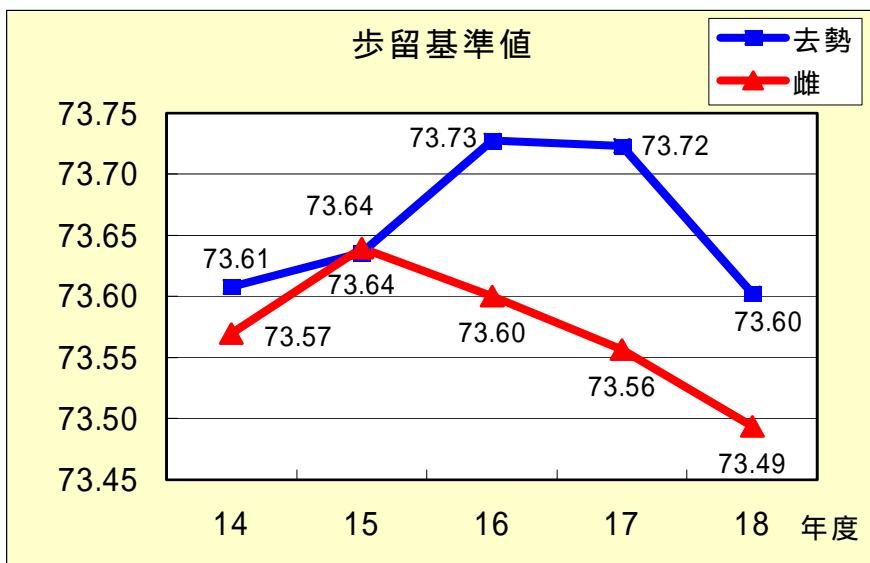
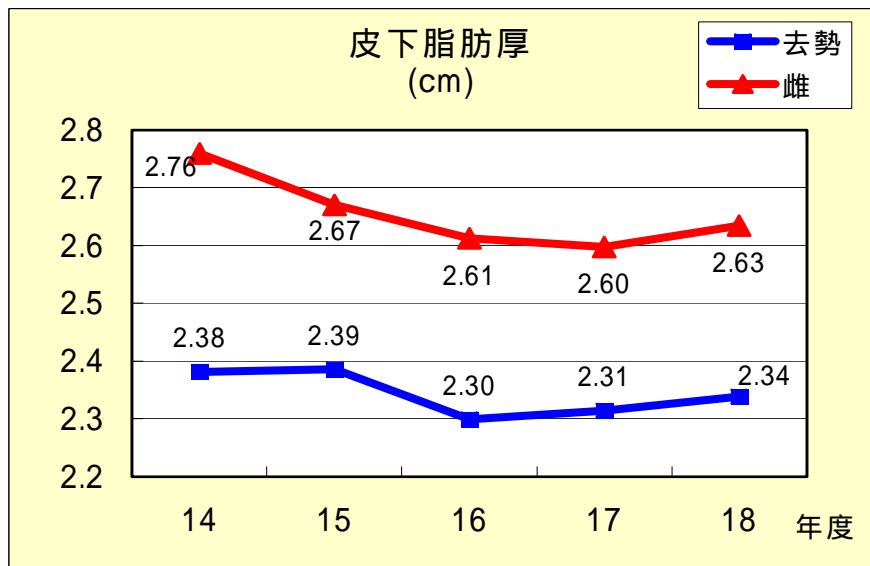
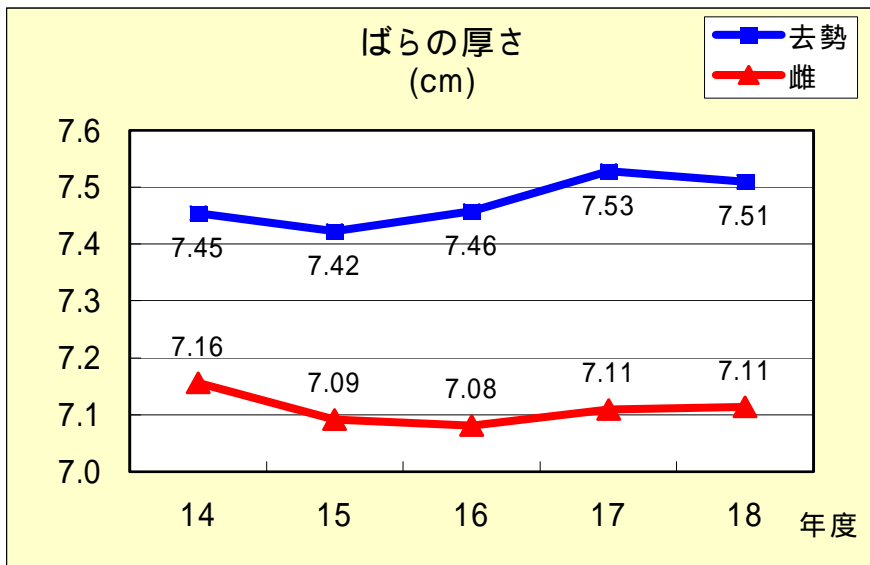


図1 各形質の年度別平均(つづき)

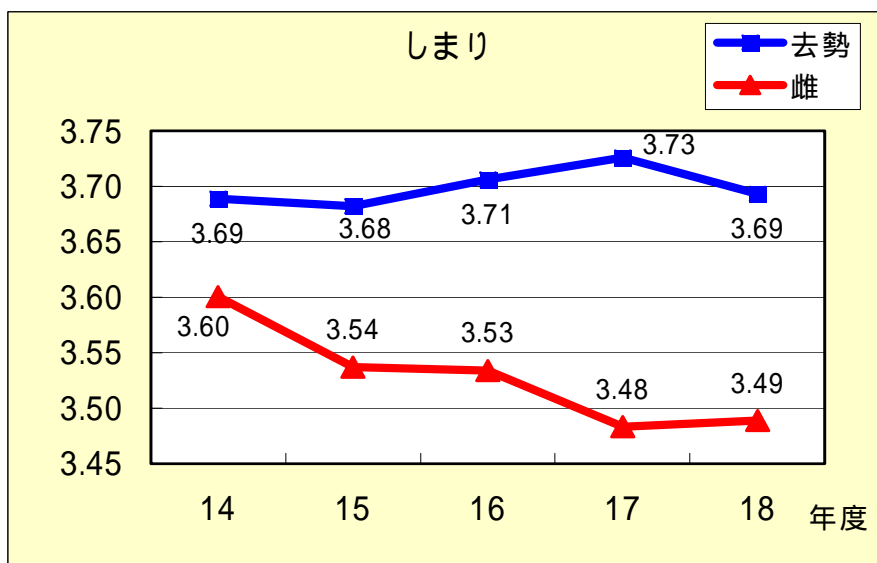
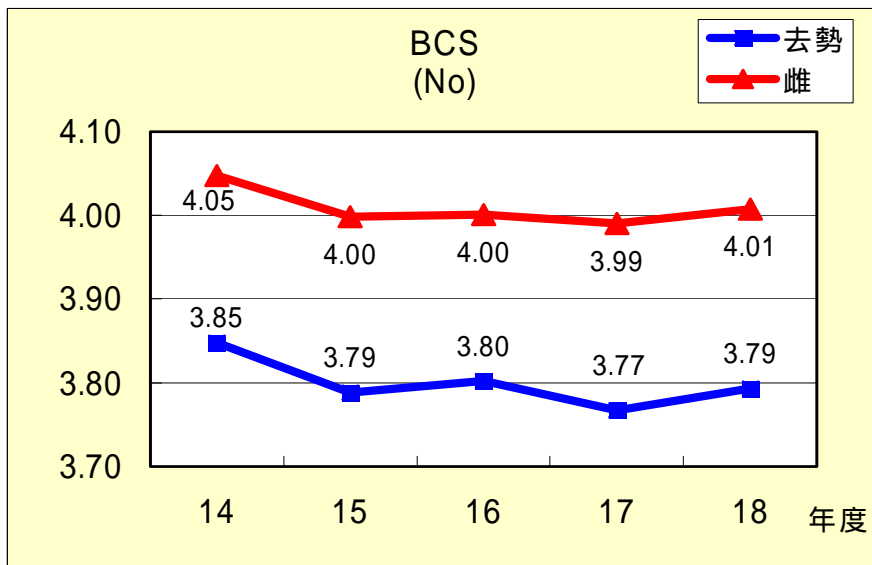
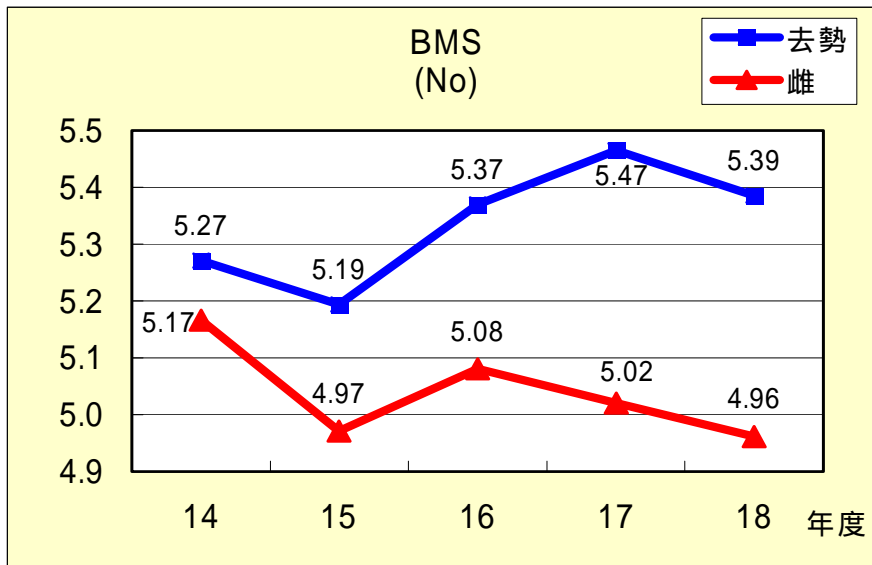
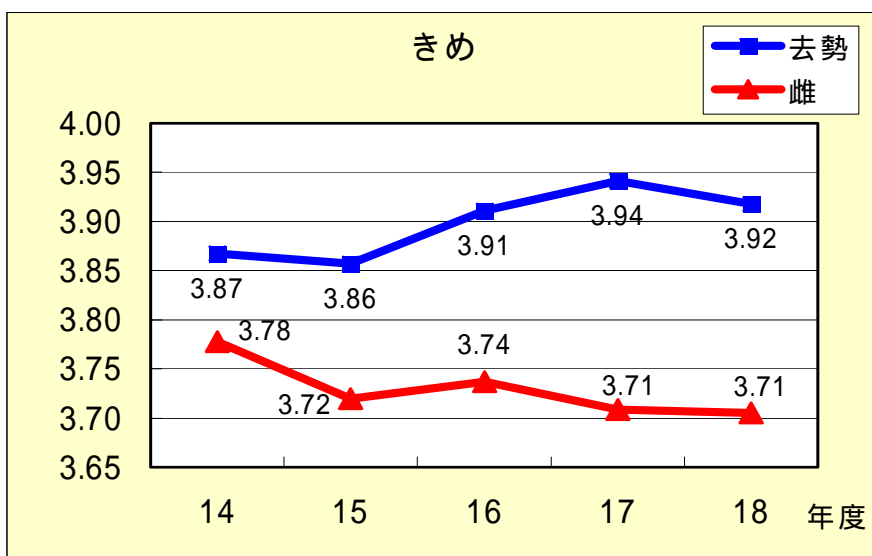
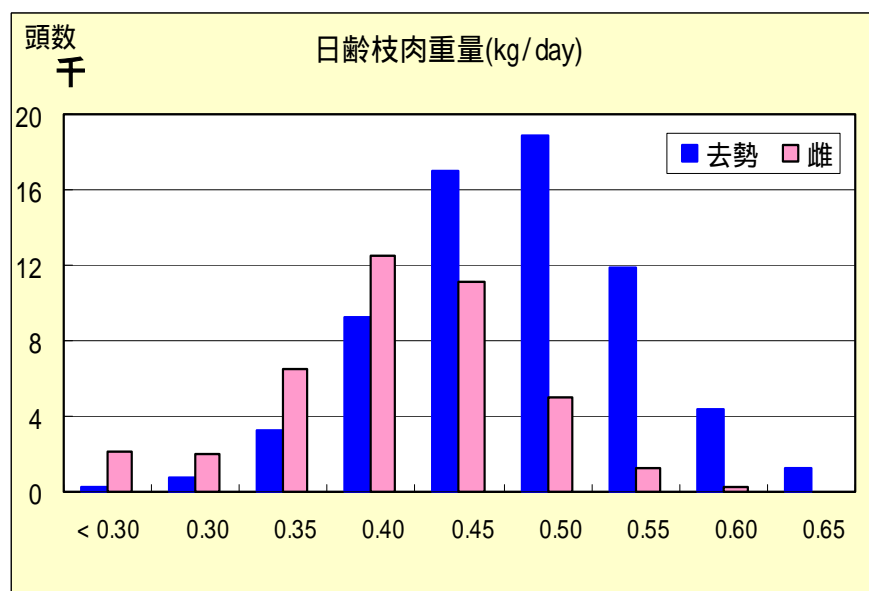


図1 各形質の年度別平均(つづき)



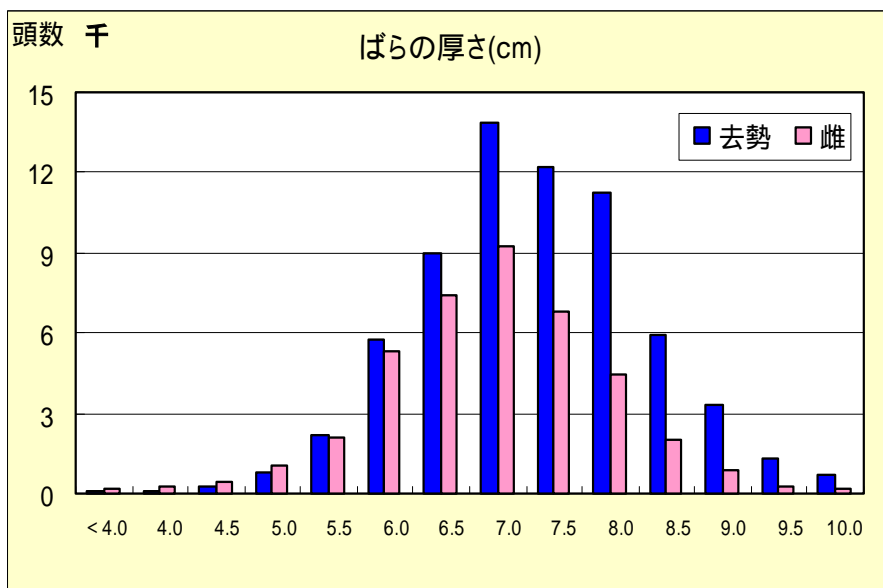
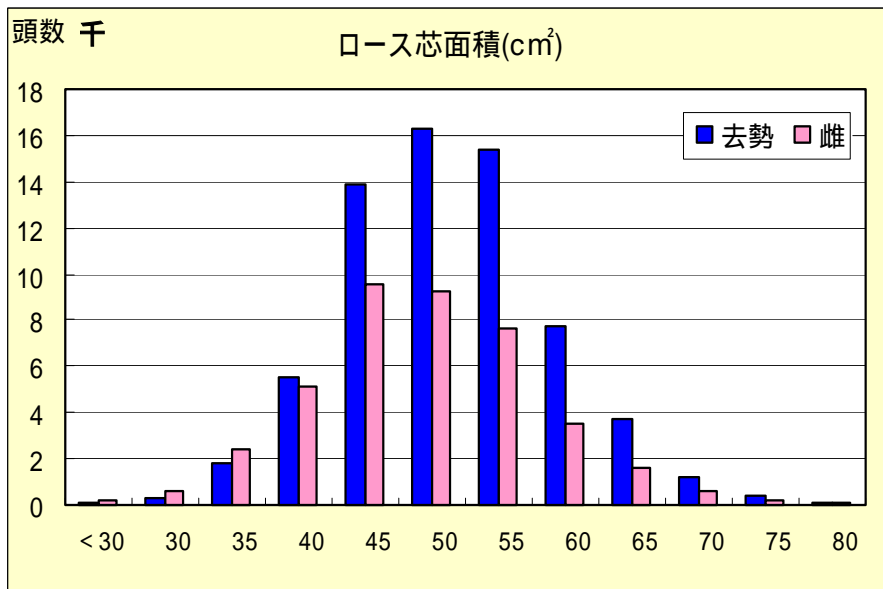
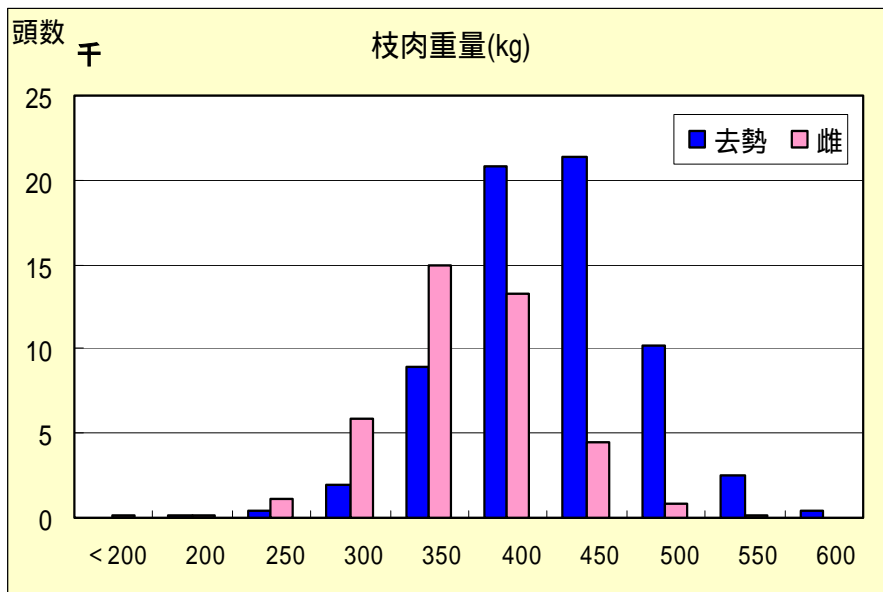
各形質の平成 18 年度の度数分布を図 2 に示した。日齢枝肉重量は、去勢で 0.50 ~ 0.55kg/day が 18,878 頭と去勢全体の 28.3%(対前年+0.9%)を占め、雌では 0.40 ~ 0.45kg/day が 12,522 頭と、雌全体の 30.7%(対前年-0.7%)を占めていた。

図2 各形質の度数分布



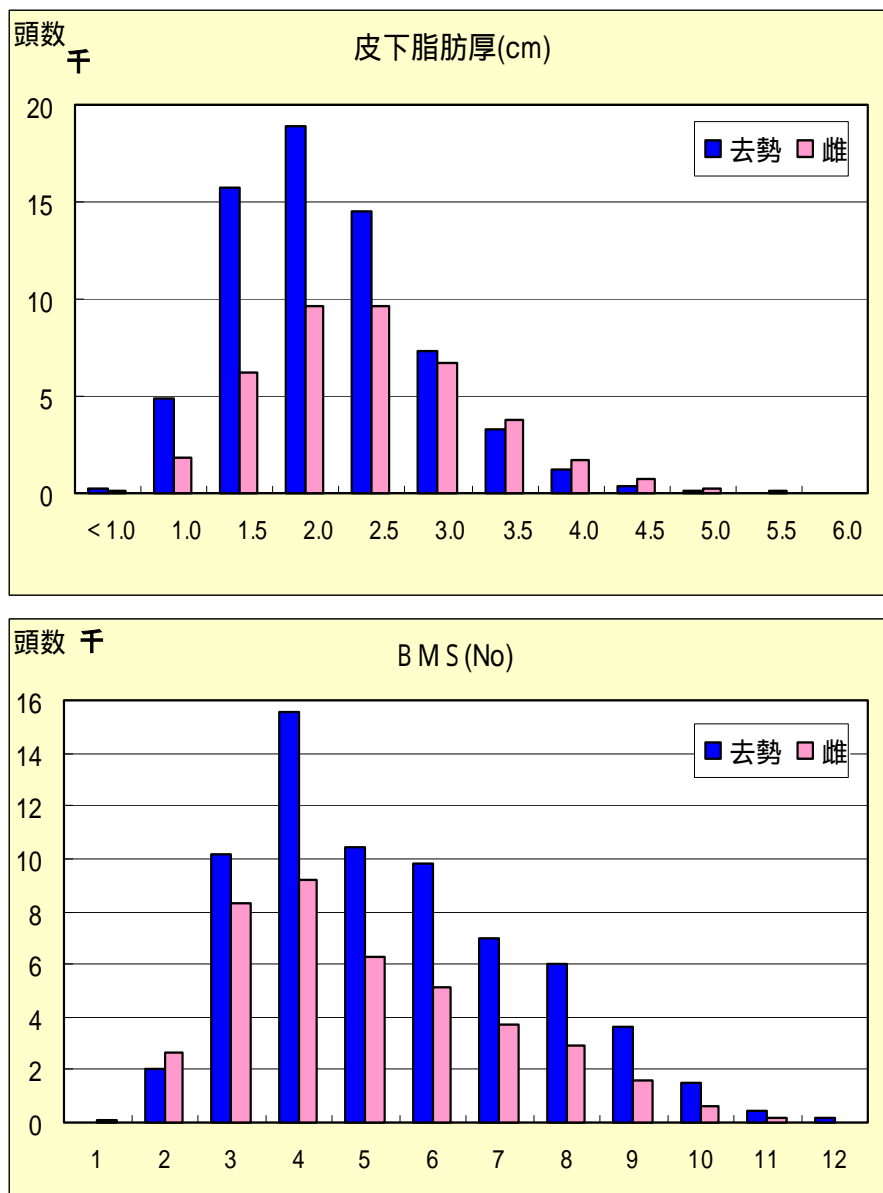
枝肉重量について、去勢で最も多く分布していたのは、450 ~ 500kg の 21,403 頭と去勢全体の 32.1%(対前年+1.9%)、雌は 350 ~ 400kg の 14,955 頭と雌全体の 36.7%(対前年-0.2%)であった。ロース芯面積については、去勢で 50 ~ 55cm²が 16,326 頭と最も多く去勢全体の 24.5%(対前年-0.6%)を占め、雌は 45 ~ 50cm²が 9,567 頭で雌全体の 23.5%(対前年-0.8%)だった。

図2 各形質の度数分布(つづき)



ばらの厚さについては、去勢において 7.0～7.5cm の階層が 13,888 頭と去勢全体の 20.8%(対前年同)と多く、次いで 7.5～8.0cm の 12,223 頭となり、去勢全体の 18.3%(対前年-0.5%)だった。雌では、去勢と同様に 7.0～7.5cm の階層が 9,276 頭で 22.8%(対前年+0.3%)と最も多く、次いで、6.5～7.0cm の 7,422 頭となり 16.8%(対前年(+0.3%)であった。皮下脂肪の厚さについて、去勢、雌ともに 2.0～2.5cm の階層が最も多く、去勢で 18,854 頭の 28.3%(対前年-0.4%)、雌では 9,667 頭で 23.8%(対前年-1.6%)だった。BMSにおいては去勢、雌ともに 4 が最多で、去勢 15,528 頭の 23.3%(対前年-0.7%)、雌 9,232 頭の 22.7%(対前年-2.4%)だった。BMSの等級区分は 8 以上が等級 5 となるが、去勢で 8 以上は去勢全体の 17.6%と、前年度の 18.8%より 1.2%減少し、雌は雌全体の 13.3%と、前年度の 13.9%よりも 0.7%減少した。

図2 各形質の度数分布(つづき)



国では、肥育期間の短縮を図り、生産性を向上させるために、表2のとおり目標値を掲げているところである。また、図3に、と畜月齢別の各形質の平均を示した。と畜月齢の平均は、去勢で29.4ヵ月、雌で33.6ヵ月であった。日齢枝肉重量については、去勢で27、雌で25ヵ月齢をピークに、月齢が進むほどに小さい。また枝肉重量、ばらの厚さでは、去勢、雌ともに30ヵ月齢をピークに停滞している。ロース芯面積では、去勢では月齢が進むほど高くなっているが、雌牛では33ヵ月齢をピークに減少した。歩留基準値において、去勢については、月齢が進むほど高くなっているが、雌については、30ヵ月齢をピークに停滞するが、32ヵ月齢から増加した。BMSについては月齢に伴い向上するが、32ヵ月齢付近で停滞や低下傾向にある。

表2 黒毛和種去勢肥育牛の能力に関する目標数値

	肥育開始時		肥育終了時		枝肉重量 kg	1日平均増体量 kg	(参考) 肉質等級
	月齢	体重 kg	月齢	体重 kg			
現在	9.5 か月	290 kg	30 か月	695 kg	440 kg	0.65 kg	3.5
目標 (27年度)	8.0	240	24	675	430	0.90	3-4

注：1) 目標数値は、肥育期間短縮を目指したものである。

2) 「(参考)肉質等級」は、肉質の維持又は向上を目指しつつ、効率的な肥育を図るための目安である。平成17年3月 家畜改良増殖目標より

図3 と畜月齢別分布

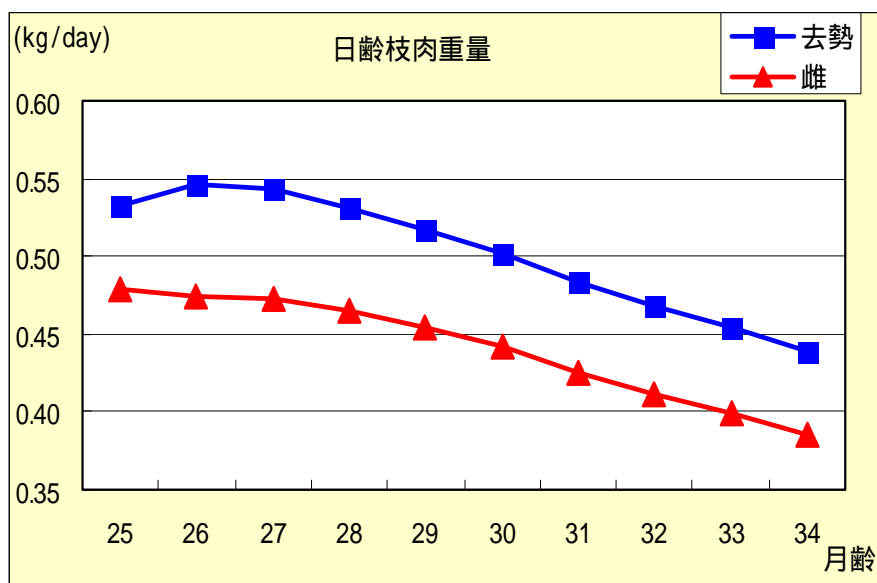


図3 と畜月齢別分布(つづき)

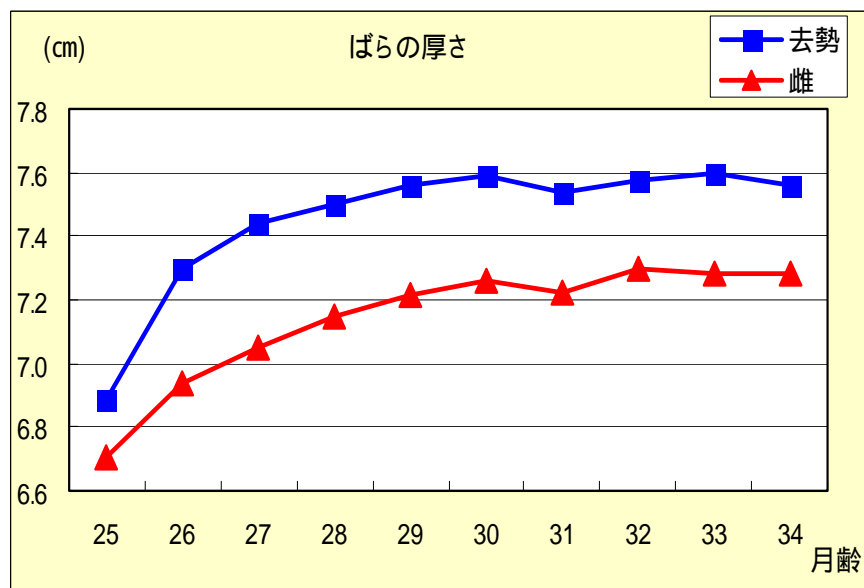
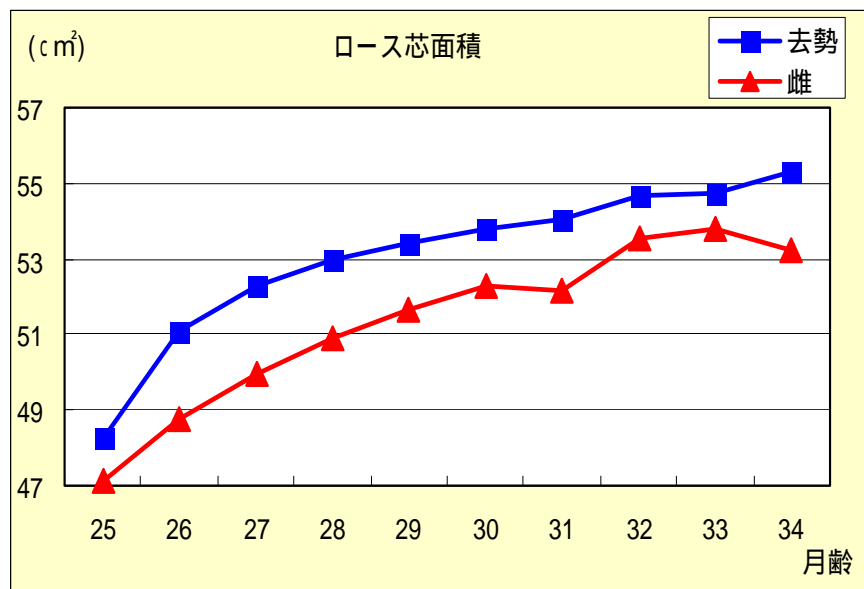
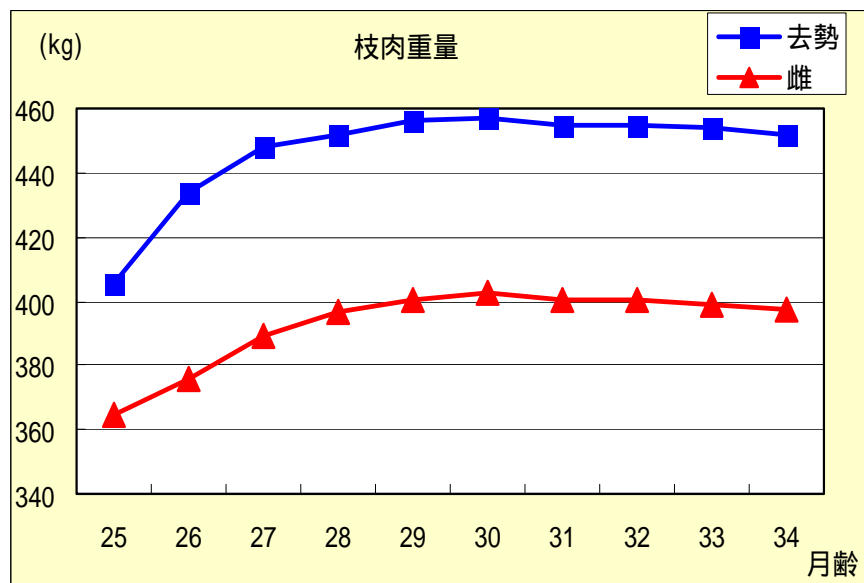
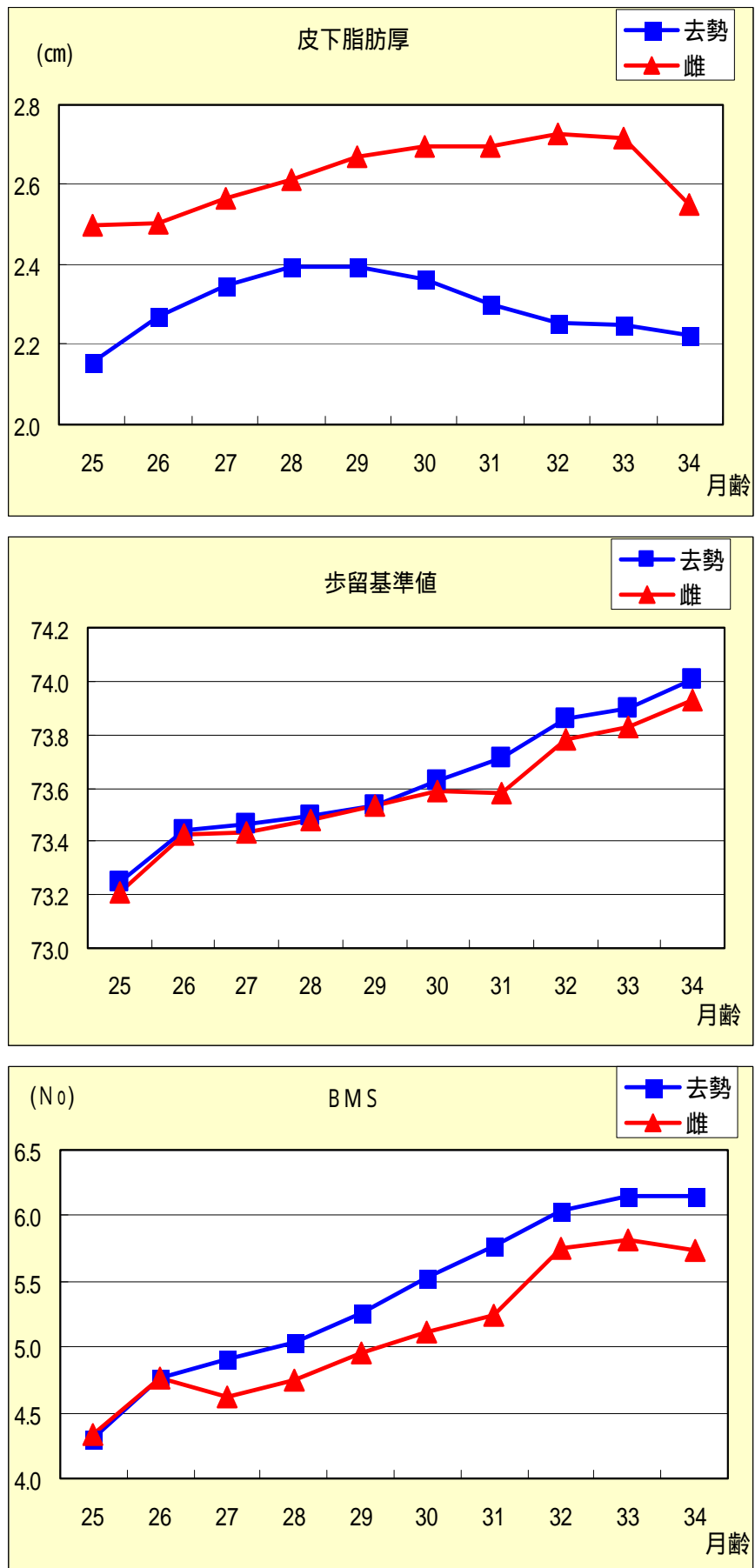


図3 と畜月齢別分布(つづき)



《参考》枝肉成績まとめの見方

1) とりまとめの条件について

- ・平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日の期間にと畜され、平成 19 年 6 月 7 日までに本事業で収集された黒毛和種の枝肉情報を集計しています。
- ・各調査成績は生年月日、血統情報等個体が明らかなものについて集計しています。
- ・一部不明なデータは集計から除外したため、項目により集計件数に差があります。

2) 語句について

- ・各調査成績中の平均は、各個体で報告のあった成績の合計をその個体数で割ったものです。また、 \pm SD は標準偏差を示しており、この値が大きいほど個々の成績にバラツキが大きいことを示しています。

3) とりまとめ項目について

提供形質について

日齢枝肉重量(kg/day)、枝肉重量(kg)、ロース芯面積(cm^2)、バラの厚さ(cm)、皮下脂肪厚(cm)、歩留基準値、BMS(No)、BCS(No)、しまり、きめの10項目です。

注) 日齢枝肉重量：枝肉重量をと畜日齢(と畜日から生年月日を引いた日数)で割った値

BMS：牛脂肪交雑基準

BCS：牛肉色基準

枝肉形質別平均 \pm SD(去勢・雌)

年度全体平均

年度別の各枝肉成績の頭数、平均と標準偏差をそれぞれ示しています。